

# 全会派から紹介議員 早期に「醒井診療所」の設置を



## 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市会議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

### 定例会日程決まる

5月29日告示・全員協議会  
6月3日発言通告締め切り  
6月6日日本会議（議案上程）  
6月6日予算決算常任委員会（全体会）  
6月10・11日一般質問  
6月12・13日民生教育常任委員会・予算決算分科会  
6月18・19日総務産業建設常任委員会・予算決算分科会

6月26日予算決算常任委員会（全体会）  
6月26日定期監査報告会  
6月27日議会運営委員会  
6月28日日本会議最終日

### 診療所設置の請願

### 紹介議員は全会派より

【請願の趣旨及び理由】

醒井地域では、松下医院が令和3年3月末に閉院され内科・小児科の医療機関が無くなり、受診者の方は他の医療機関への転院を余儀なくされました。このため高齢者などの交通弱者は大変不便となり、多くの住民から醒井地域になんとしたてでも診療所を設置してほしいとの声が出されました。

この声に応え、当時の自治会長・民生児童委員のみなさんが「醒井地域の医療を守る会」を結成し、米原市長に対して「醒井診療所の設置を求める要望署名運動」を開始し、2、000筆を超える署名（醒井地域内各自治会の取り組みでは1,800筆）を短期間で集めました。この署名は、令和3年5月21日に平尾市

5月27日開催された議会運営委員会が6月定例会の日程と議案の概要が決まりました。執行部提案議案は、報告4件、承認4件、議案16件となっています。議会からは発議2件（会議規則の変更等）と請願1件、意見書1件となっています。請願は醒井地域の医療を守る会（代表、江竜謙一さん）からで紹介議員は山口、鏑田、吉田、藤田の各議員です。意見書については「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」で提案者は磯谷、堀江、振角の各議員です。

長に直接提出し、市長からは「署名の重みを感じている。診療所の設置には医師の確保が必要で、私としても努力していきたい」との言葉をいただいています。

その後3年間「守る会」では、米原市担当部局と5回にわたる協議・要請行動を重ね、醒井地域への診療所設置をあらゆる提案も示しながら求めてきました。また、市としても「開業医誘致にかかる補助制度」などの活用提案をいただきましたが、結果として醒井地域住民の願い実現には至っていません。

市民の願い実現に尽力いただいている米原市議会におかれましては、令和3年9月に当会が提出しました「醒井地域に診療所の設置を求める陳情書」に対して、地域医療を守るためには、医師の偏在を抜本的に解消する仕組みの確立が必要であるため、今後は国・県・市等への要望活動にも尽力していきたいと回答をいただいています。

当会としても、これまでの市との話し合いの場で、資料として提出を受けた「米原市内における医療機関の分布図」を見ても、人口が多いにもかかわらず、空白となる地域が広い醒井地域が、先ず診療所の設置を求めることは、他地域からも理解していただけるものと考えています。

### 選択的夫婦別姓の意見書も提案・賛成議員は全会派より

### 提案・賛成議員は全会派より

また、米原市が地域医療振興協会に指定管理者としてお願いしています4つの診療所については、効率的な活用のために全体のバランスも考えて、ふさわしい位置に変更することを市に要望してきました。併せて米原における地域医療の将来的な配置計画についても、米原市に計画を立てるよう要望してきましたが、いまだに実現していません。

会としては、診療所開設に必要な管理者について、医師が兼務できるような条件緩和を県に求めることなども要望してきました。

米原市議会におかれましては、引き続き地域住民の暮らしや福祉・医療を守る立場で、醒井地域の医療を守るために、下記の事項を採択していただき、米原市に対してその実現を求められるよう請願します。

【請願内容】  
米原市内地域医療機関の将来計画を立てるとともに醒井地域に、仮称「醒井診療所」を早期に設置すること。

選択的夫婦別姓の意見書も全会派の議員が、賛成議員となり提出されています。ジェンダー平等が行政課題となり選択的夫婦別姓はジェンダー問題の重要な課題となつていきます。米原市議会としても、しっかりと取り組んでいく必要があることから、今回の意見書となっています。